

平成27年度県立磯子高等学校不祥事ゼロプログラムの検証及び評価

県立磯子高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、実践した。その結果を総括して報告する。

(課題1) 法令遵守意識の向上(公務外非行の防止)

(取組) 法令違反のないようにする。

(目標) 公務外非行を起こす職員はゼロにする。

(行動) 校内グループウェアシステムにより法令違反を起こさないよう注意を喚起する。また、公務外非行を起こさない事は人として当然のことである。

(検証及び評価)

校内グループウェアを利用して注意喚起をしてきた。公務外非行はおこらなかった。

(課題2) わいせつ・セクハラ行為の防止

(取組) わいせつ・セクハラ行為がないことは当然であり、また、セクハラ行為と疑われるような言動も慎む。

(目標) わいせつ・セクハラ行為がないようにする。

(行動) 校内グループウェアシステムによりわいせつ・セクハラ行為を起こさないよう注意を喚起する。また、わいせつ・セクハラ行為を起こさない事は人として当然のことである。

(検証及び評価)

校内グループウェアを利用して注意喚起をしてきた。わいせつ・セクハラ行為はおこらなかった。

(課題3) 体罰、不適切な指導の防止

(取組) 反抗的な生徒・わがままな生徒がいた場合、話をしながら理解させる指導をする。

(目標) 体罰、不適切な指導がないようにする。

(行動) 校内グループウェアシステムにより体罰、不適切な指導がないよう注意を喚起する。指導の難しい生徒に対しては一人で抱えず複数で対処するようにする。

(検証及び評価)

日本で暮らす外国人の抱える悩み、課題を理解するために、また様々な障がいを持つ生徒に対する理解を深めるため、講師を招聘して職員研修を実施し、不適切な指導の発生を予防した。

(課題4) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係わる事故防止

(取組) 調査書・通知表等の作成、成績処理における事故を起こさないようにする。

(目標) 調査書・通知表等の作成、成績処理における事故防止を徹底する。

(行動) 調査書・通知表等の作成、成績処理において複数の目による点検体制を再確認し、徹底する。また、作成に当たっては、ある程度余裕をもった日程の作成も必要である。さらに校内グループウェアシステムに掲載すること等により注意を促す。

(検証及び評価)

校内グループウェアシステムに掲載すること等により注意を促してきた。余裕を持った成績処理日程を組むことで事故の発生を防ぐことができた。

※ 校長による職員との個別面談を実施し、職員一人ひとりの状況を把握することで、不祥事防止の徹底を図った。